

東西条地域センターだより

第30号

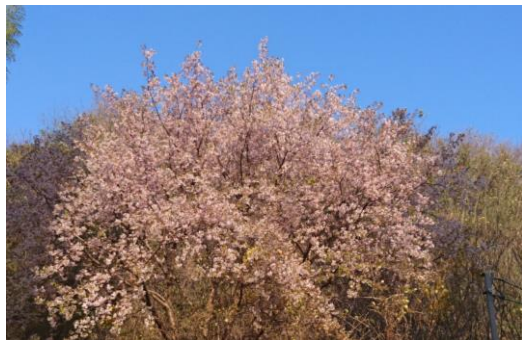
平成30年2月25日発行

東西条地域センター 〒739-0007 東広島市西条土与丸 2-3-4 TEL・FAX 082-421-2023

啓蟄や日はふいそ、く矢の如く (高浜虚子)

もうすぐ3月6日は啓蟄ですね。大地があたたまり、冬ごもりしていた虫たちが穴から出てくる頃。虫だけではなく、さまざまな生き物たちが活動をはじめます。草花にも燦々と日は注ぎ、あたりは光に包まれます。

〈満開のヒガンサクラ〉



〈菜の花〉



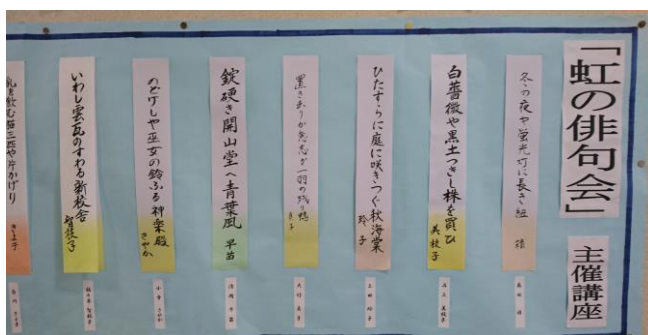
《市民一人、1講座・1スポーツ・1ボランティア》を東西条地域センターは奨励中！！

《主催講座・「虹の俳句会」1月月例》

日本の四季を感じながら“俳句”を基礎から学ぶ講座です。毎月第三木曜日13時から開かれています。ご指導は、東広島俳句協会・奥田 積先生他 皆様にお世話いただいています。

がたがたと波板揺すり寒戻る

(俳句協会会員 土居ノ内 淳)



〈毎月投句された作品展示〉



〈俳句教室 平成30年1月18日〉

《東西条トピックス》

- 1) 「第18回・さわやかウォークの日歩こうDAY」が3月4日(日)AM9時から開催されます。区民の皆様、参加して頂き健康づくりとコミュニケーションを図りましょう。集合は地域センターです。
- 2) 東西条みまもりネットが「東広島市学校安全ボランティア、活動奨励賞」を頂き、安心・安全の功績を称えられ、教育委員会から表彰されました。毎日の見守りに児童も感謝、有難うございます。

◀ 東西条小学校、小学校PTA、東西条地区住民自治協議会・福祉部会の共催行事 ▶

報告者：東西条小学校 高橋教頭先生

平成29年度地域で子育て講演会報告

日時 平成30年1月26日（金）14：15～
場所 東西条小学校 体育館
演題 「親子の絆を育む読み語り」
講師 絵本作家 朝川 照雄 先生
内容



まず、全校児童と参加された保護者の方に、朝川先生が絵本の読み語りをされました。いろいろなジャンルの絵本を7冊読んでくださいました。子ども達も大人も朝川先生の絵本の世界に引き込まれ、一心不乱に集中して聴き入っていました。読み語りの合間には、子ども達へ優しく語りかけられ、本を読むことの楽しさや大切さを話されました。

後半の保護者・地域の方への講演においては、是非とも子どもに読ませたい絵本を心温まる「読み聞かせ」を通して紹介しながら、その内容を具体的に掘り下げ、親としての子どもへの接し方や言葉を増やしていくことの大切さについて話してくださいました。また、子どものやる気スイッチを入れるためのコミュニケーションのとり方などにも言及され、日ごろの子どもへの対応の仕方についても考えさせられました。あっと言う間に時間が過ぎた有意義な講演会でした。

【学校長の感想】

朝川先生、心にしみるお話ありがとうございました。朝川先生が「人が生きていくための大切な言葉、その言葉をはぐくむために一番大切なのは、家庭での親子の会話です。その言葉をうまく使うには、本を読んであげることです。いろいろな言葉の接することで想像や疑似体験をします。子どもたちは将来いろいろな場面で言葉を使い成長していきます。」とメッセージに書かれています。

実際、今、いろいろな言葉があふれていて、日本語の美しさとか、正しい言葉の使い方を学ぶ機会が少なくなってきたと感じています。だからこそ、言葉一つ一つを吟味し、作者のメッセージを伝えている作品に触れることは、子どもたちにとって豊かな言葉に触れる大きなチャンスだと思います。

さまざまな体験をすることによって、子ども達は、豊かな感性をはぐくみます。いつでも どこでも 子どもと触れ合いながら、子どもに絵本を読み聞かせること 今しかできない、今だからこそできる かけがえない時間だと思います。子ども達が大人になった時、必ず、そのぬくもりは心の奥底に息づいています。

朝川先生、すぐにやってみたくなるよう素敵なアドバイスをいただきありがとうございました。これからはますますのご活躍を祈念いたします。

《 主催講座・「知っ得！健康生活」1月30日開催 》

健康に関する事、体操や介護を学ぶ講座です。今回は第4弾でテーマは、①不足しがちなたんぱく質について ②高齢者支援について、39名の参加者がありました。ご指導は西条北地区高齢者相談センター・桜が丘保養園の皆様今回もお世話いただきました。①不足しがちなたんぱく質について：栄養士の方から、1日60gのたんぱく質を摂取する事の大切さについてお話していただきました。食事のポイントとしては、毎日10の食品群＜肉・魚介・卵・海草・油脂・緑黄色野菜・牛乳(乳製品)・大豆(大豆食品)・いも・果物＞をまんべんなく摂取することにより寝たきりのリスクが低くなるということです。②高齢者支援について：東広島市社会福祉協議会 権利擁護センターは、認知症の方や 障がいのある方々が、住みなれた地域で安心して生活できるように支援されています。寸劇による、わかりやすい事例を紹介していただきました。

第5弾は3月6日、テーマは「自らを守る交通事故防止体操」と「高齢者の『住まい』のこと」です。

※ 今回のセンターだよりは30号記念につき“カラー印刷”いたしました、今後とも編集頑張ります。